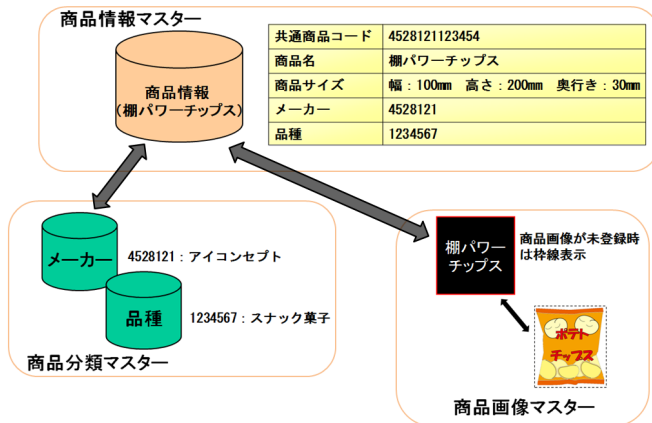


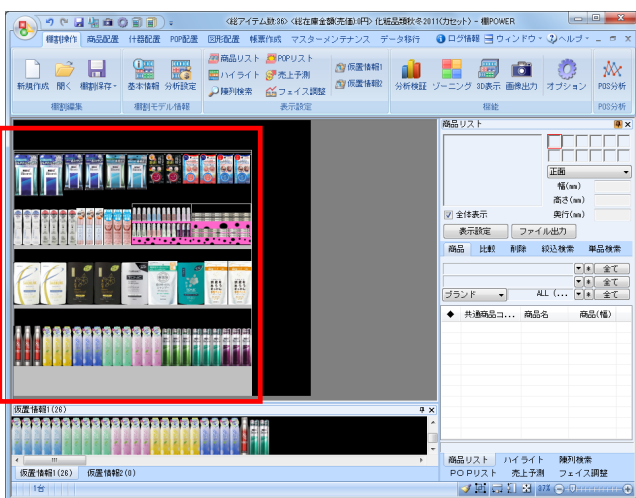
■データ移行について

各マスター概要

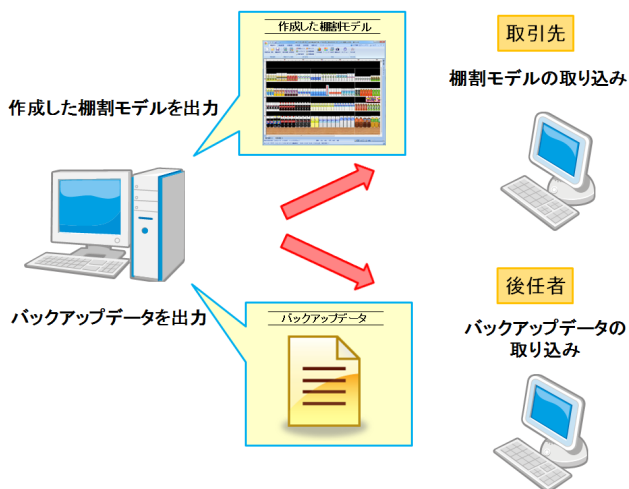


1. 棚POWERで棚割編集作業を行なうためには、左図のように各マスターの登録が必要です。

※マスターとは、「商品分類」「商品情報」「商品画像」など棚割を作成するために必要な基本データを指します。詳細は操作テキスト「マスターメンテナンス編」を参照ください。

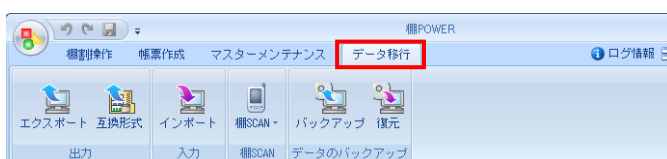


2. 登録したマスターを使用して、棚割の作成が可能です。棚POWERでは棚割のことを棚割モデルと呼びます。



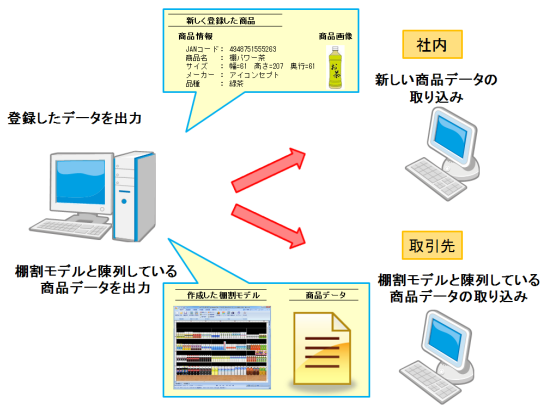
3. [データ移行]では棚POWERに登録している一部または全てのデータを出力（エクスポート）や、そのデータを取り込み（インポート）ができます。

例えば取引先に作成した棚割モデルを渡すことができるほか、棚割作成担当者の変更時にはバックアップデータを出力することで、棚POWERに登録されている全データを後任者にそのまま引き継ぐことも可能です。



4. 本テキストでは[データ移行]における各機能の説明を行なっていきます。

■データのエクспорт

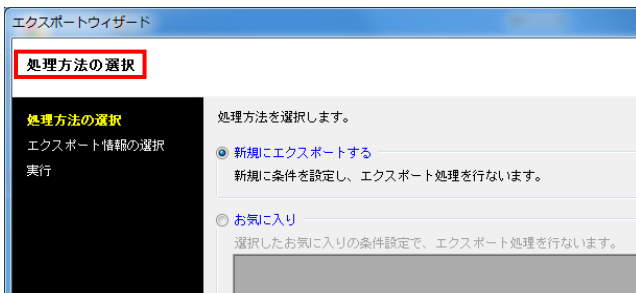


棚POWERに登録しているデータの出力を行いません。

画面に沿って操作することで、他のパソコンに新しく登録したデータを渡したり、取引先に作成した棚割モデルと棚割モデルに陳列している商品のデータを渡したりと、条件を設定し希望のデータを出力することが可能です。

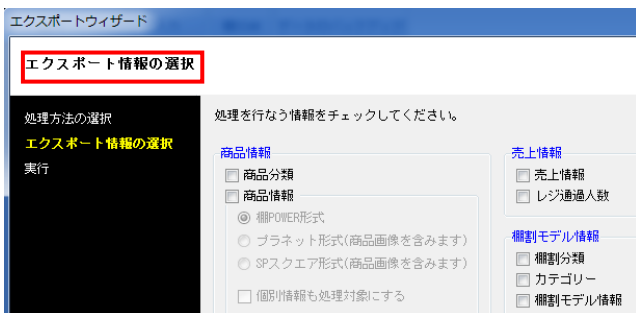
～エクソートの流れ～

エクソート作業の大きな流れは下記になります。



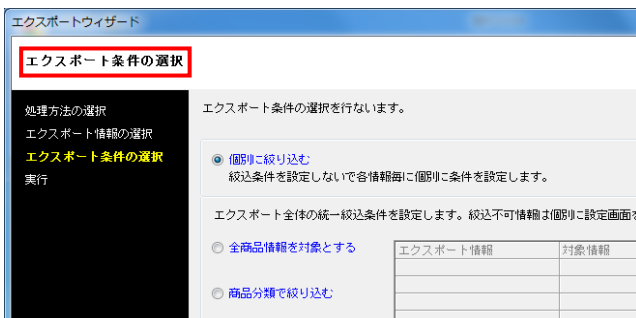
①処理方法の選択

エクソートの処理方法を新たに設定する、もしくは過去に登録した条件を呼び出すか選択します。



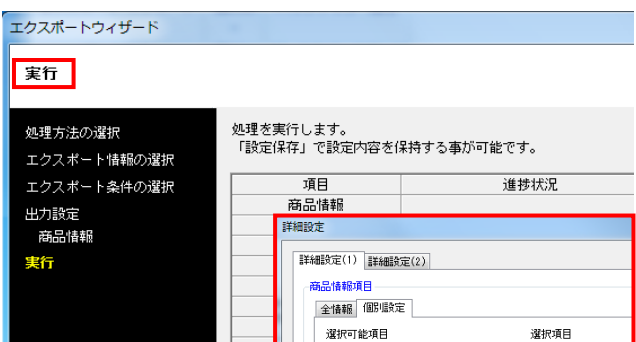
②エクソート情報の選択

何のデータを出力するかを選択します。



③エクソート条件の選択

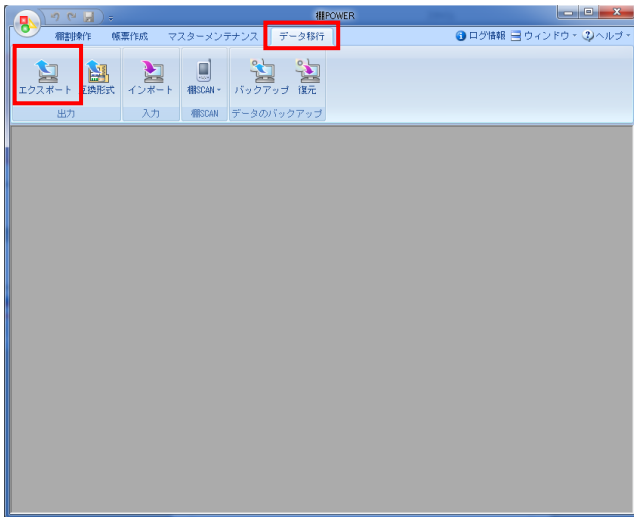
上記②で選択したデータをどんな条件で絞り込むかを選択します。



④実行

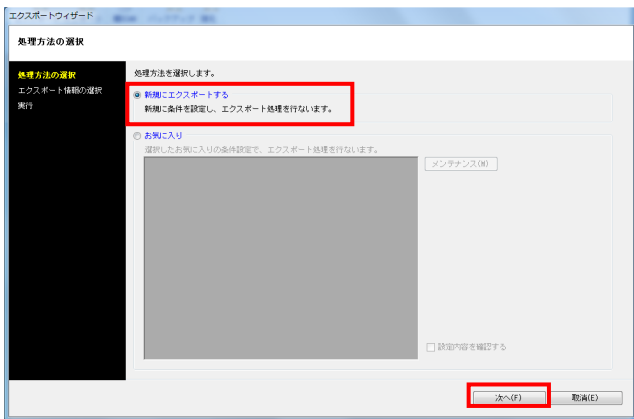
出力対象のデータをどのような形式で出力するか選択し、出力を実行します。

次ページからエクソートの手順を詳しく説明していきます。



1. ここから「商品分類」「商品情報」「商品画像」「棚割モデル情報」の出力手順を説明します。

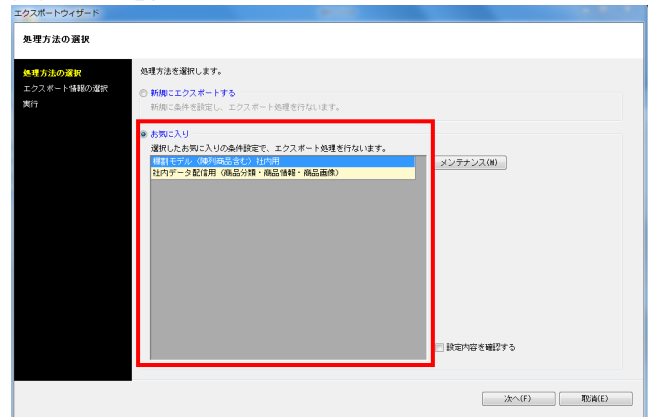
[データ移行]タブ - [エクスポート]をクリックします。

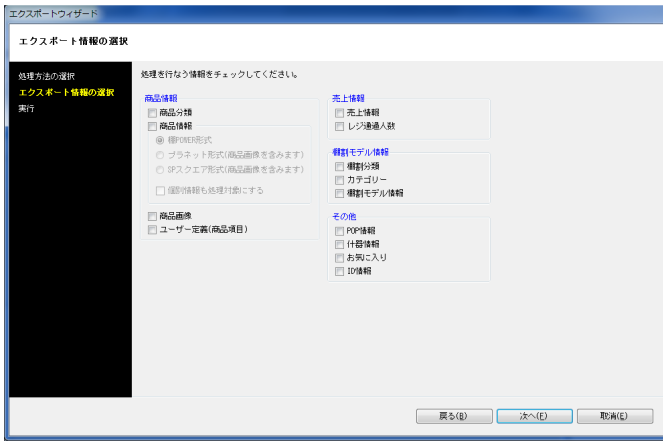


2. [処理方法の選択]より「新規にエクスポートする」を選択して、[次へ] をクリックします。

「お気に入り」を選択すると、過去に登録した条件を呼び出すことも可能です。

詳細はP. 13を参照してください。





3. [エクスポート情報の選択]より出力したい情報を有効にします。

各項目の詳細は下記の通りです。

「商品分類」

メーカーや品種など商品が属する情報

「商品情報」

商品名や商品サイズなどの商品の文字情報

- ・ 棚POWER形式
棚POWER同士でやり取りできる商品情報、商品画像
- ・ プラネット形式
他社棚割ソフトと互換性のある商品情報、商品画像
- ・ S Pスクエア形式
他社棚割ソフトと互換性のある商品情報、商品画像

「商品画像」

棚に陳列する商品の画像

「売上情報」

商品の売上金額や売上数量

「棚割分類」

店舗や企業など棚割モデルを管理するコード、名称

「カテゴリー」

登録している全商品の中における棚割に陳列する商品群

「棚割モデル情報」

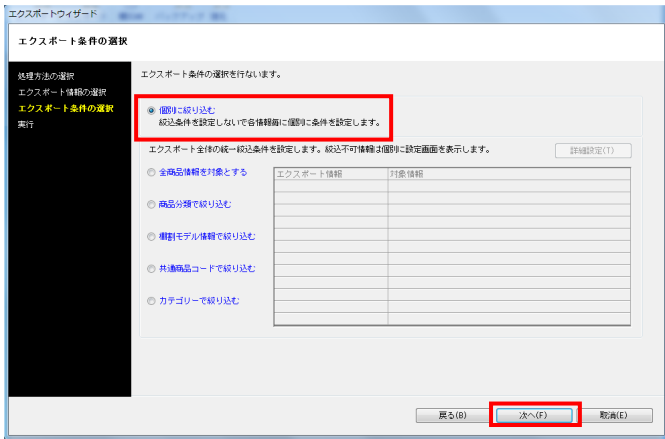
作成した棚割の情報

「POP情報」

棚割画面上に貼り付ける販促物などのPOPの情報



4. 「商品分類」「商品情報（棚POWER形式）」「商品画像」「棚割モデル情報」のチェックボックスを有効にして、[次へ]をクリックします。



5. [エクスポート条件の選択]より、どのような条件で情報を出力するかを選択できます。
「個別に絞り込む」を選択し、[次へ]をクリックします。

各条件の詳細は下記の通りです。

「個別に絞り込む」

出力する情報ごとに個別に条件を設定できます

「全商品情報を対象とする」

登録している全ての商品の情報を出力できます

「商品分類で絞り込む」

メーカーや品種などを指定して情報を出力できます

「棚割モデル情報で絞り込む」

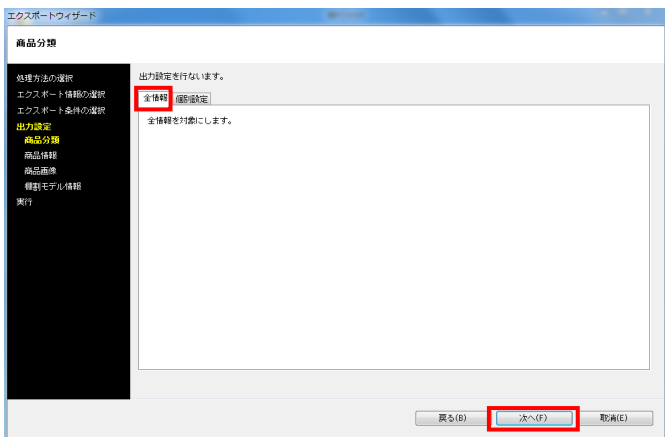
棚割モデルを指定して、その棚割モデルに含まれる情報を出力できます

「共通商品コードで絞り込む」

共通商品コードを直接指定して情報を出力できます

「カテゴリーで絞り込む」

カテゴリーグループを指定して、そのカテゴリーグループに含まれる情報を出力できます



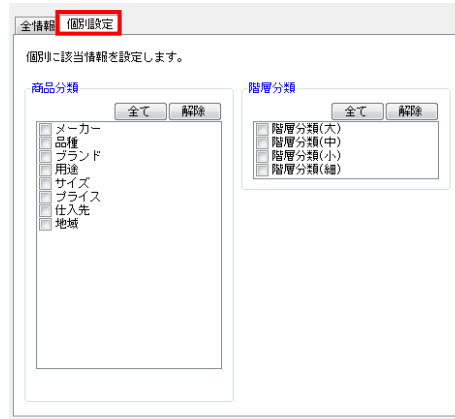
6. 商品分類の出力条件を設定します。
「全情報」を選択し、[次へ]をクリックします。

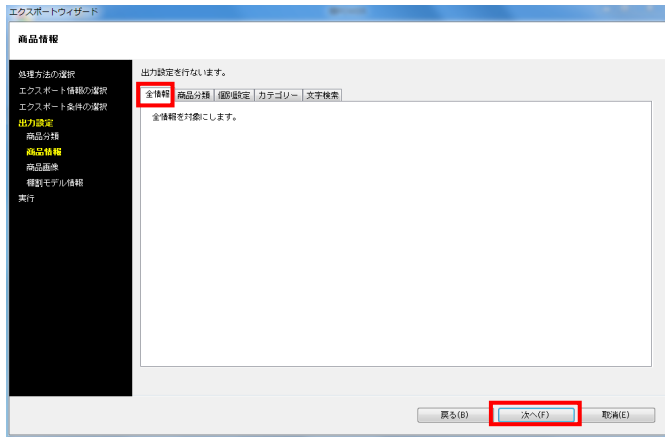
- 全情報

登録している全ての商品分類を出力できます

- 個別設定

選択した商品分類のみを出力できます





7. 商品情報の出力条件を設定します。
「全情報」を選択し、[次へ]をクリックします。

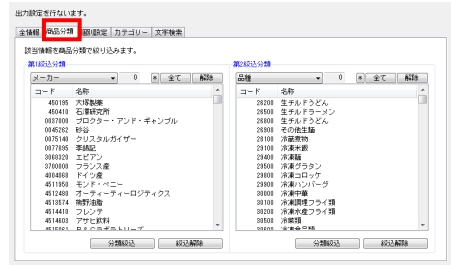
各条件の詳細は下記の通りです。

【全情報】

登録している全ての商品情報を出力できます

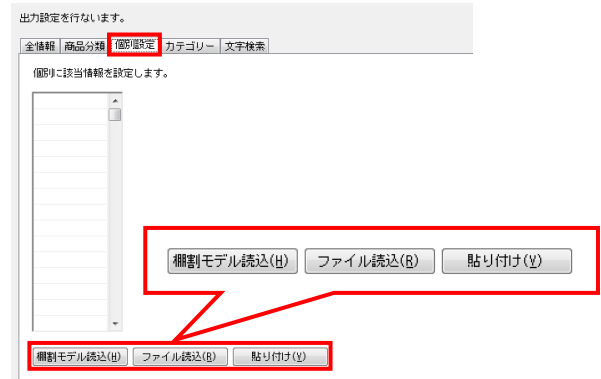
【商品分類】

メーカーや品種などを指定して商品情報を出力できます



【個別設定】

共通商品コードを直接指定して商品情報を出力できます



• 棚割モデル読込

棚割モデルを指定して、棚割モデルに含まれる共通商品コードを呼び出すことができます

• ファイル読込

手持ちのExcelやCSVファイルから共通商品コードを呼び出すことができます

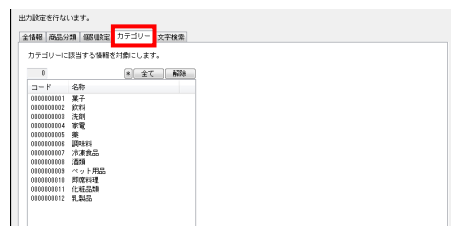
※A列にJANコードが記載されている必要があります

• 貼り付け

Excelなどに記載された共通商品コードをコピーし、貼り付けることができます。

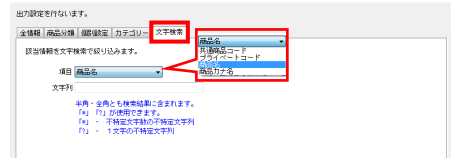
【カテゴリ】

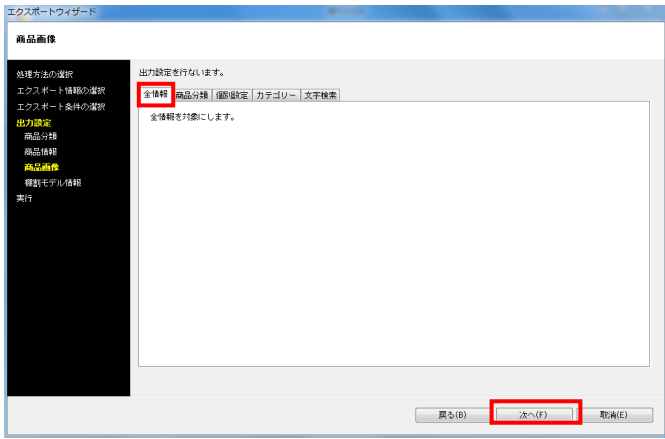
作成したカテゴリグループを指定して、そのカテゴリグループに含まれる商品情報を出力できます



【文字検索】

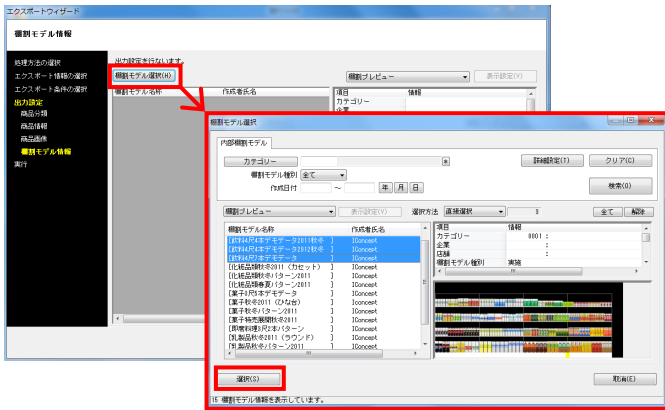
共通商品コードや商品名で検索した商品情報を出力できます





8. 商品画像の出力条件を設定します。
「全情報」を選択し、[次へ]をクリックします。

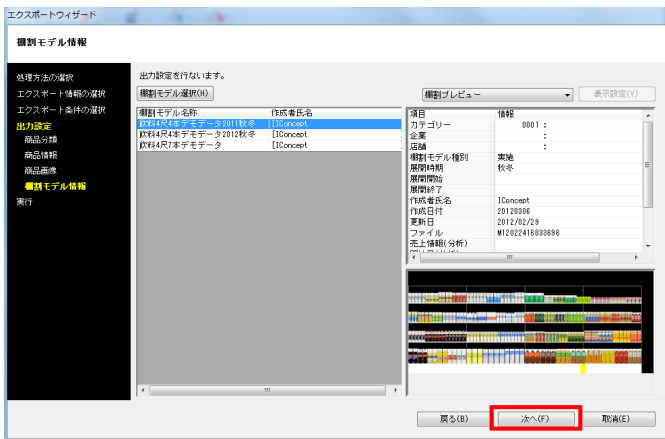
※各設定項目については商品情報と同様です。



9. 出力する棚割モデル情報を選択します。
[棚割モデル選択]から出力したいモデルを選び、[選択]をクリックします。

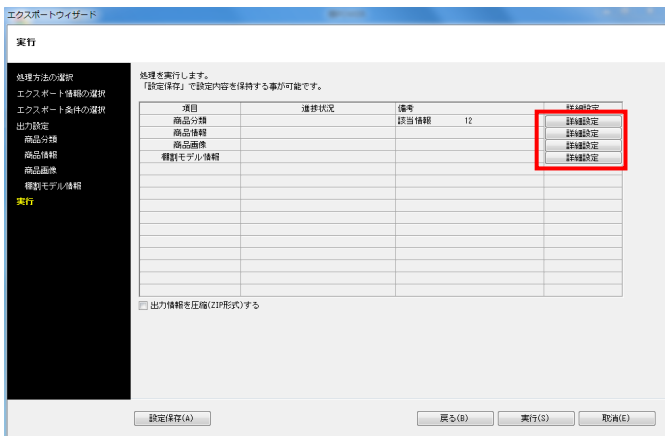
棚割モデルの検索方法に関しては、
操作テキスト「棚割編集-基本編」P.26を参照してください。

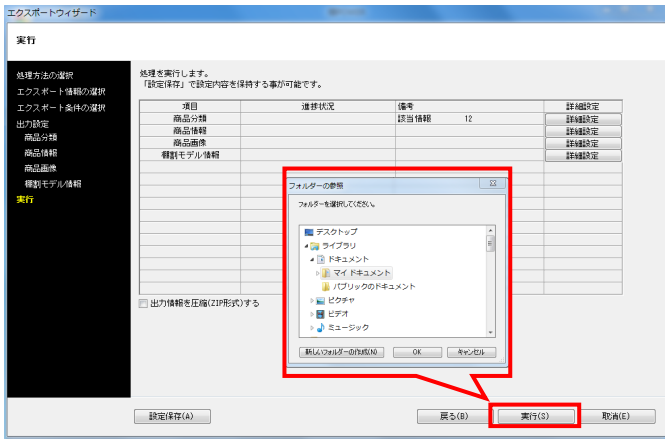
[次へ]をクリックします。



10. [詳細設定]で各情報をエクスポートする際の条件を詳しく設定
します。
各項目の設定が完了すれば [設定] をクリックします。

※各項目の[詳細設定]についてはP.9~12を参照してください。





11. [実行]をクリックし、フォルダーの参照画面より出力先フォルダーを指定して、エクスポートを実行します。

※「出力情報を圧縮（ZIP形式）にする」を有効にすると、出力データをZIP形式で圧縮します。

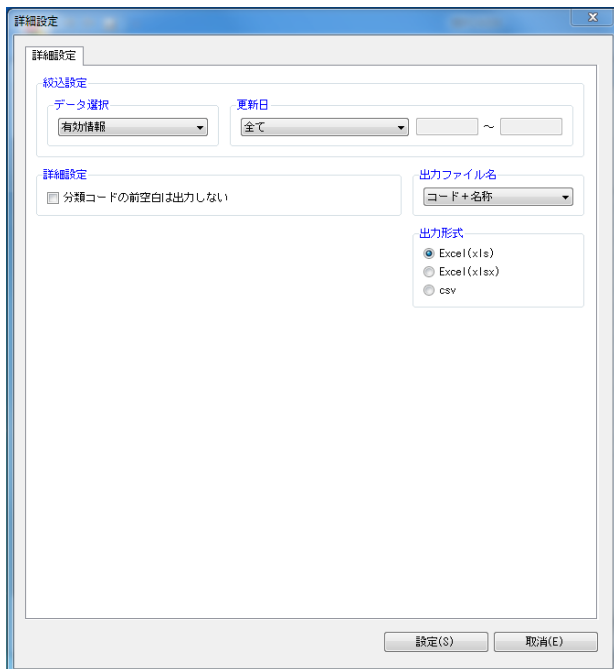
※[設定保存]にて設定内容を登録すれば、次回よりその設定を呼び出し使用できます。詳細はP. 13でご紹介します。

12. これで棚POWERに登録されている「商品分類」「商品情報」「商品画像」「棚割モデル情報」の出力ができました。

P. 14からは使用シーンを想定しながら、データを出力する手順を説明します。

■エクスポート実行時の各[詳細設定]内容

商品分類－[詳細設定]



「データ選択」

有効情報、削除情報、全情報から選択できます

「更新日」

出力する期間を指定できます

- ・「全て」… 全期間
- ・「期間指定」… 対象の年月日を 8 桁で入力できます
- ・「本日」
- ・「昨日」
- ・「1週間」
- ・「1ヶ月」

※更新日とは、データが登録された日（新規の場合）または更新された日です

「出力ファイル名」

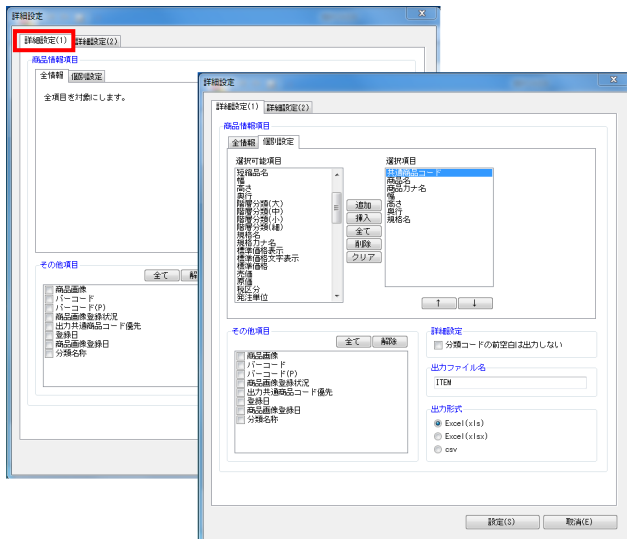
出力するファイル名を「（商品分類）コード」、
「（商品分類）コード＋（商品分類）名称」から選択できます

「出力形式」

出力するファイルの形式を選択できます

- ・ [Excel(xls)] … [Excel 97-2003]形式
- ・ [Excel(xlsx)] … [Excel 2007]以降の形式
- ・ [csv] … [csv]形式

商品情報－[詳細設定]



[詳細設定 (1)] タブ

「商品情報項目」

- 全情報
全商品情報項目を出力できます

• 個別設定

選択した商品情報項目のみを出力できます

「その他項目」

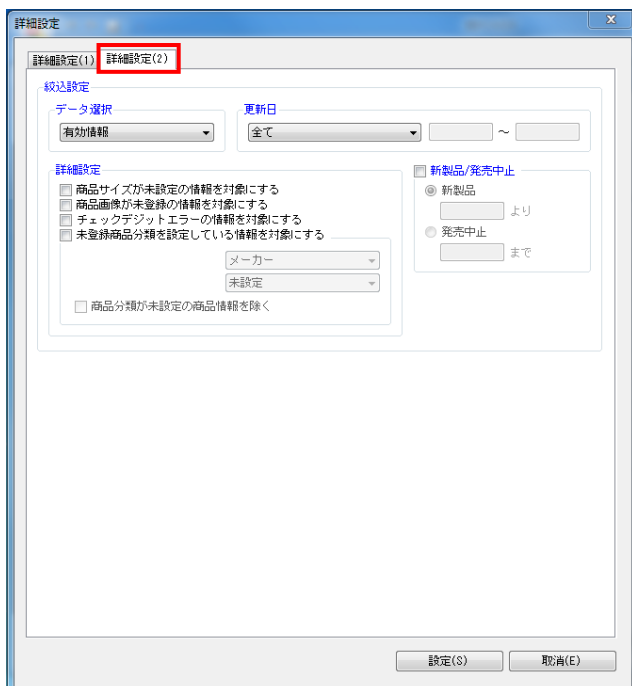
確認用として選択した項目を商品情報ファイル内に出力できません (※インポートはできません)

「出力ファイル名」

出力する商品情報のファイル名を設定できます

「出力形式」

出力するファイルの形式を選択できます



[詳細設定 (2)] タブ

「データ選択」

全情報、有効情報、削除情報から選択できます

「更新日」

出力する期間を指定できます

- 「全て」… 全期間
- 「期間指定」… 対象の年月日を 8 桁で入力できます
- 「本日」
- 「昨日」
- 「1週間」
- 「1ヶ月」

※更新日とは、データが登録された日 (新規の場合) または更新された日です

「詳細設定」

- 商品サイズが未設定の情報を対象にする
商品サイズの登録がない商品情報のみ出力できます
- 商品画像が未登録の情報を対象にする
商品画像が登録されていない商品情報のみ出力できます
- チェックデジットエラーの情報を対象にする
チェックデジットエラーの商品情報のみ出力できます
- 未登録商品分類を指定している情報を対象にする
分類マスターと商品情報マスターが一致していない商品情報のみ出力できます

「新製品/発売中止」

指定した日付と、商品情報の発売日/発売中止日の日付を基に、新製品/発売中止の商品のみ対象にできます

商品画像－[詳細設定]



「更新日」

出力する期間を指定できます

- 「全て」… 全期間
- 「期間指定」… 対象の年月日を 8 桁で入力できます
- 「本日」
- 「昨日」
- 「1週間」
- 「1ヶ月」

※更新日とは、データが登録された日（新規の場合）または更新された日です

「新製品/発売中止」

指定した日付と、商品情報の発売日/発売中止日の日付を基に、新製品/発売中止の商品のみを対象にできます

「出力画像形式」

JPG, BMPから選択できます

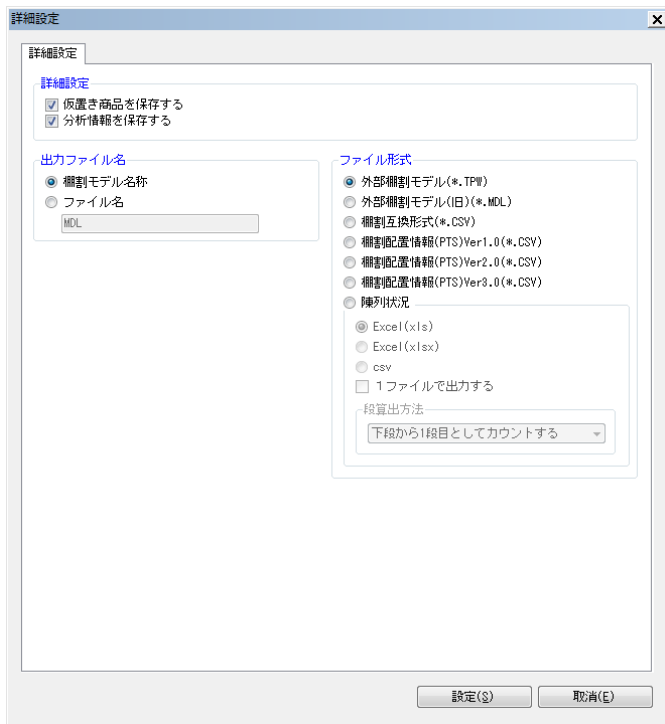
「出力形式」

- フォルダー化形式
13桁JANコードの前7桁をフォルダー名、残りの6桁のコード + _(アンダーバー) + 面番号」をファイル名で出力できます
※「面番号」については操作テキスト「マスターメンテナンス編」P. 18を参照してください
- 共通商品コード形式
「共通商品コード + _(アンダーバー) + 面番号」のファイル名で出力できます

「商品画像」

- 全情報
登録している全ての商品画像（全ての面）を出力できます
- 個別設定
選択した商品画像の面のみを出力できます

棚割モデル情報－[詳細設定]



「詳細設定」

- 仮置き商品を保存する
有効にすると、仮置情報内に陳列している商品も棚割モデル情報に保持できます
- 分析情報を保存する
有効にすると、分析設定で設定した内容も棚割モデル情報に保持できます

「出力ファイル名」

- 棚割モデル名称
設定しているモデル名称をファイル名にして出力できます
- ファイル名
テキストボックスに入力したファイル名で出力できます

「ファイル形式」

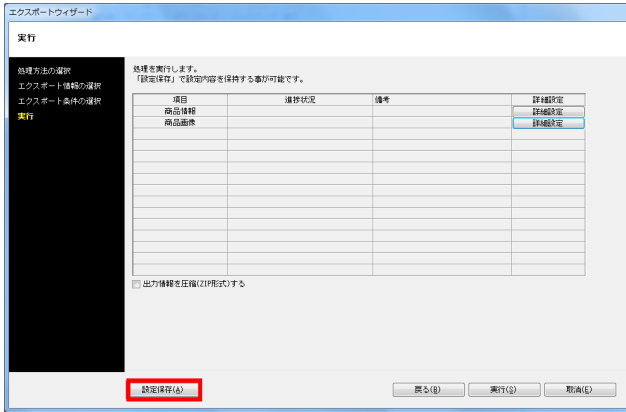
- 外部棚割モデル (*.TPW)
棚POWER 独自の形式で、最も再現性が高く棚POWER 同士でやり取りする場合に使用します
- 外部棚割モデル(旧) (*.MDL)
Ver17以前の棚POWER独自の形式で、先方がVer17以前の棚POWER利用時に使用します
- 棚割互換形式 (*.CSV)
棚POWER、店POWERほか、棚割リンク、StoreManager(GXシリーズ)間でデータ連携を可能にしたフォーマットです。
- 棚割配置情報(PTS) (*.CSV)
棚割ソフト間のデータ連携を可能にした共通のフォーマットです
Ver1.0…商品が棚のどの位置にあるかの配置場所や、フェイス数などの「配置情報」に対応

Ver2.0…「配置情報」に加え、「台情報」「棚情報」(什器のサイズ)などに対応

Ver3.0…Ver2.0に加え、手前挿入や別商品積上などの再現に対応

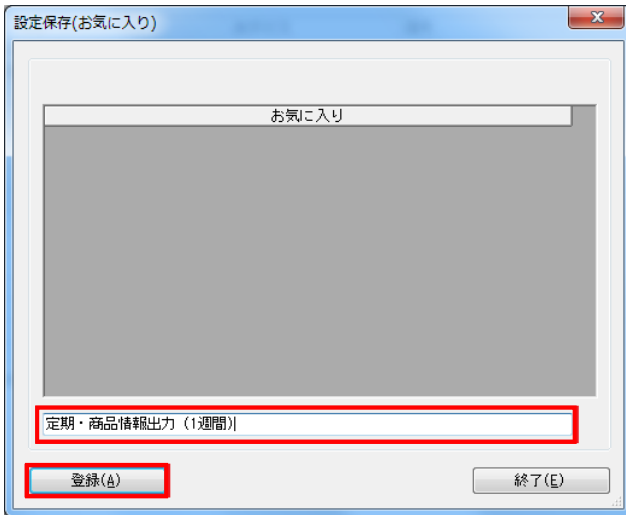
※各PTSのバージョンはフォーマットが異なるため、他社棚割ソフトの対応バージョンを確認してください
- 陳列状況
棚POWER独自の形式で、台段列などの陳列データです(什器の情報は持っていません)

■ 「お気に入り」の設定・使用手順

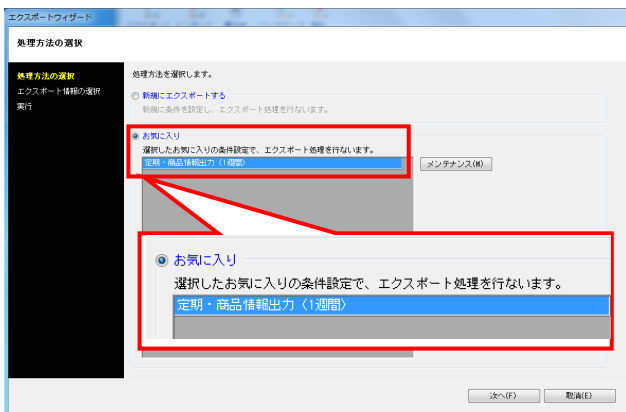


1. エクスポート時に設定した内容は、「お気に入り」として保存することができます。
保存した設定内容は、次回エクスポートする際に呼び出して使用できるため、同じ設定で定期的に出力する場合などに活用すれば、作業を軽減できます。

[設定保存]をクリックします。

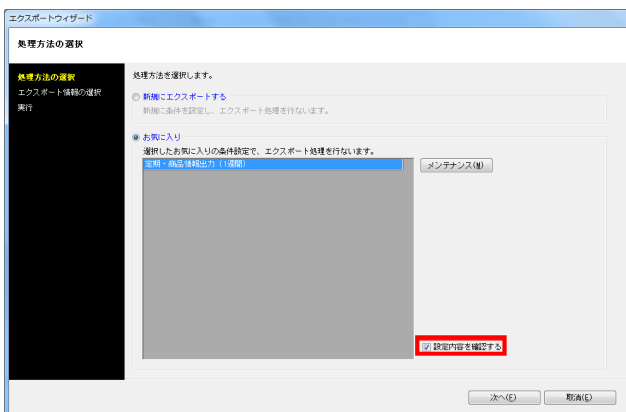


2. テキストボックスに名称を入力し、[登録]をクリックします。



3. 登録した設定を使用してデータを出力します。
[処理方法の選択]画面にて、「お気に入り」を選択します。

「お気に入り」の一覧より、使用する設定を選択し、[次へ]をクリックします。実行画面まで移動するので、特に設定を確認、変更する必要がなければそのまま実行します。



4. 設定内容を確認してから出力したい場合は、「設定内容を確認する」を有効にします。

有効にすると、設定内容を確認し出力することが可能です。